

# 学 外 実 習 生 心 得

本校では、専門教科の選択科目として学外実習を実施しています。学外実習を選択すると、第4学年の主として夏季休業中に、5日間以上企業等に行って学ぶことができます。

## (1)学外実習の目的

学外実習は、本校で学んだ知識や技術が産業界における重要性を企業等における実習を通じて認識するとともに、本校卒業生への期待を企業現場で実感し、工業技術の体得や技術者として自覚を養い自らの進路の選択に役立てることを目的としています。

## (2) 学外実習の心構え

- ① 学外実習は、学生諸君の将来を考える企業等の厚意があつてはじめて実施できることを忘れず、実習の目的を十分認識して積極的に取り組んでください。
- ② 実習期間中は、本校を代表する学生としての礼節を守って行動してください。

## (3) 実習前の注意事項

- ①所持品は、指定されたもののほか、身分証明書、保険証、印鑑等を持参すること。
- ②指定された時間及び場所を確認すること。実習期間中の連絡場所を家族に連絡すること。
- ③指定場所又は到着場所に着いたときは、実習先に通知し、その指示を受けること。
- ④ 出発日や帰還日を学級担任に連絡し、事前に学生課教務係に用意してある「学外実習旅行届」を同係に提出すること。
- ⑤ 積極的に事前研修に努めること。

## (4) 実習期間中の注意事項

- ① 実習には、他の大学や高専の学生が同じ会社に同時に集まるので、先輩並びに後輩に対する責任を十分自覚し、不用意な言動や行動は固く慎み、礼儀正しく対応するよう努めること。
- ② 実習にあたっては、指示されたことを直に取り掛かり熱意を持って取り組むこと。
- ③機械・器具等の取り扱い、実習生であることを自覚して、自分勝手な判断や知ったかぶりをせず、指導者の指示に従うこと。実習内容や機器の取り扱いで不明な点は、質問をする等十分理解した上で実習に取り組むようにすること。また、使用物品の整理整頓に心掛けること。
- ④実習地の暑さや環境の変化で体力を消耗するので、夜間の外出は慎み、健康の保持に留意すること。また、特に安全には、十分気をつけること。

## (5) 実習終了後の注意事項

- ① 終了時には、指導者及びお世話になった方々には、必ずお礼の挨拶をするとともに、帰函後直ちに礼状を出すこと。
- ② 実習先及び学校が指定した学外実習報告書（実習テーマ、実習機関名、配属先名、実習期間、実習概要等を記入）を必ず提出すること。
- ③ 実習後の予定（旅行経路、帰還日等）に変更がある場合は、学級担任及び家族に電話等で必ず連絡すること。